

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

組織・グループ名	統合失調症 当事者会 クローバー
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般助成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①当事者支え合い・当事者支援の促進</li> <li>②地域福祉ニーズ(課題)への対応</li> <li>③福祉の学び(参加型福祉教育)の推進</li> <li>④福祉コミュニティの構築]</li> </ul> </li> <li>● 協働事業助成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>[ 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動</li> <li>2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 ]</li> </ul> </li> </ul>
助成事業名	定例会、勉強会実施事業
<p>助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。</p> <p>1, 定例会</p> <p>統合失調症当事者同士の交流、分かち合い、情報交換、支え合いのため、第一土曜日午前中に開催。 会場は、かながわボランティアセンターの第一相談室。 コロナのために開催できなかった月もあります。「居場所ができた気がする」「やっぱり会って話ができるとうれしい」など開催を待ち望む参加者も多いので、感染対策に気を付けながら今後も可能な限り定例会を開催していきたい。</p> <p>2, 勉強会(WRAP)</p> <p>リカバリーに大切なことを学びながら、困難なことに対して様々な工夫を考え、共有するため、今年度は全6回開催。テーマは、「学び」「権利擁護・サポート」「元気に役立つ道具箱」「日常生活管理・引き金」「注意サイン、深刻な乱れ」「クライシス、クライシス後のプラン」 会場は、横浜市青葉区あざみ野の山内地区センターにて。 参加者からは「自分では思いつかなかったことを言葉にしている人が多くて勉強になった」「実際に集まって話すと、言葉に臨場感があって良い」「適切な判断をするためには学びは大切」などの声があがりました。様々な生きづらさに対して、丁寧に見つめ対処法を分かち合うことができました。</p> <p>3, 勉強会(3色パステルアート)</p> <p>7/15にコロナ禍の中、感染人数が減少してきた頃を見計らって少人数で開催。 会場は、横浜市青葉区あざみ野の山内地区センター会議室にて。 アートに触れて自己表現することで、日常の困難から一時離れた自分と向き合う。 参加者からは「描いているうちに気分が晴れた」「みんなのできあがりを見るだけでも感動する」「描いている時に癒された」「人によって全然違うので、見比べて楽しい」「自分でもこんなにきれいなものができた」などの声があがりました。</p>	



↑ 3色パステルアート



↑ 定例会の様子